

授業科目 内科学 II

【担当教員名】 林 千治		対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
【概要・一般目標：G10】 内科学 I で学んだ内容を基礎として、主たる内科疾患を学ぶ。また、その応用として、老年学や老年期に特有な疾患の知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 内科系の疾患数は膨大であり、このすべてをこの授業で理解するのは不可能である。各職種が臨床の場においてよく遭遇する疾患や、処置に注意を要する疾患について、その基礎知識を身に付けることを目標とする。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	内科各論 1	循環器疾患 I (先天性心疾患と後天性心疾患)			講義 (林)
2	内科各論 2	循環器疾患 II (刺激伝導系の異常と不整脈、心電図)			講義 (林)
3	内科各論 3	循環器疾患 III (心電図の見方; 危険な不整脈、虚血性心疾患)			講義 (林)
4	内科各論 4	呼吸器疾患			講義 (林)
5	内科各論 1	消化器疾患 1 消化管疾患			講義 (林)
6	内科各論 6	消化器疾患 2 肝臓・胆管系、膵臓疾患			講義 (林)
7	内科各論 7	腎、泌尿器系疾患、電解質異常			講義 (林)
8	内科各論 8	内分泌・代謝疾患			講義 (林)
9	内科各論 9	血液疾患			講義 (林)
10	老年病学 1	老化とは、高齢者の疾患の特異性			講義 (林)
11	老年病学 2	高齢者の循環器疾患・呼吸器疾患			講義 (林)
12	老年病学 3	高齢者の消化器・腎泌尿器系疾患、電解質異常			講義 (林)
13	老年病学 4	高齢者の免疫・感染症、血液・内分泌・代謝異常			講義 (林)
14	老年病学 5	高齢者の運動器・感覚器・皮膚・精神疾患			講義 (林)
15	内科・老年病学	まとめ			講義 (林)
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		オリジナル			
参考書		ナーズの内科学 (5 版)	越川昭三 (編)	中外医学社	2001・8,000 円
		老年期医学テキスト	日本老年医学会 (編)	Medical view	1997・6,500 円
その他の資料		プリントで配布する。			
【評価方法】 試験のみ		【履修上の留意点】 前期の内科学 I (林担当) を履修しておく必要がある。			